

平成20年12月期 決算説明資料

Clean, Health, Safety



興研株式会社

平成21年 2月 27日

平成20年12月期 決算概要

営業の経過及び成果

当事業年度は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融危機の影響が先進国を中心に实体经济を蝕み始め、わが国経済においても企業収益が急速に悪化、景気は深刻な後退局面に入りました。

こうした経済環境の中で、マスク関連事業部門では、産業向けの防じんマスク・防毒マスクの需要は上期までは堅調に推移しておりましたが、官公庁の予算圧縮による受注減に加え、10月以降の急激な経済変動を警戒するユーザー各社のコスト削減が当社製品の需要にも影響を見せ始めました。その一方で電動ファン付き呼吸用保護具「プレスリンクブローマスク」は、新機能を付加したモデルチェンジとラインナップの充実を図った結果、好調に推移し、同事業部門の売上高72億89百万円、前事業年度比2.5%増の確保に寄与いたしました。

環境関連事業部門においては、平成20年3月の特定化学物質障害予防規則の一部改正などにより、ホルムアルデヒド（ホルマリン）の規制が強化されたことから、下期において医療施設向けのプッシュプル型換気装置の需要を喚起すべく、新型換気装置の市場投入と営業の集中を行いました。これにより医療施設向けの換気装置の受注活動は順調に進み、同事業部門の売上高は5億56百万円、前事業年度比3.8%増となりました。

この結果、当事業年度の売上高は78億45百万円となり、前事業年度比2.6%増の成果を収めることが出来ました。

一方、売上原価は、原材料費等の高騰により、前事業年度比3.7%増の43億20百万円となり、販売費及び一般管理費も退職給付費用の増加等で、前事業年度比3.8%増の28億13百万円となりました。このため利益につきましては、営業利益7億10百万円（前事業年度比7.2%減）、経常利益5億94百万円（前事業年度比10.7%減）、当期純利益3億32百万円（前事業年度比1.7%減）となりました。



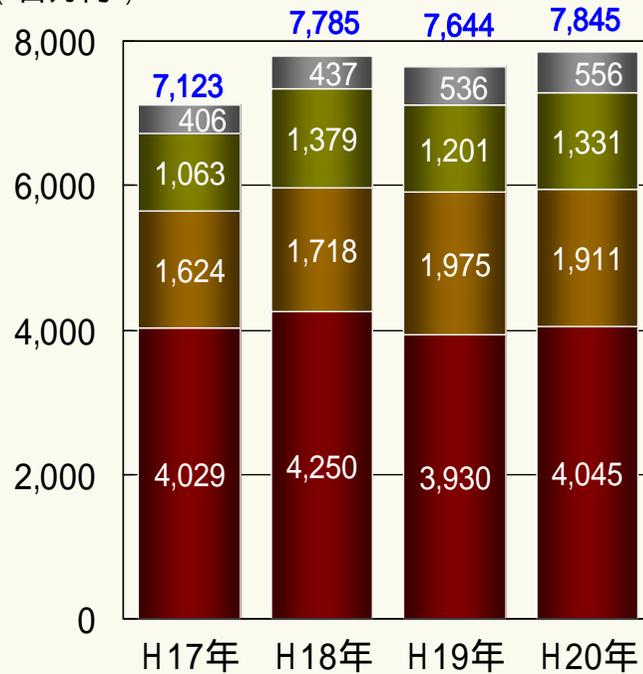
電動ファン付き呼吸用保護具
プレスリンクブローマスク



プッシュプル型換気装置

売上高・売上構成比の推移

(百万円)

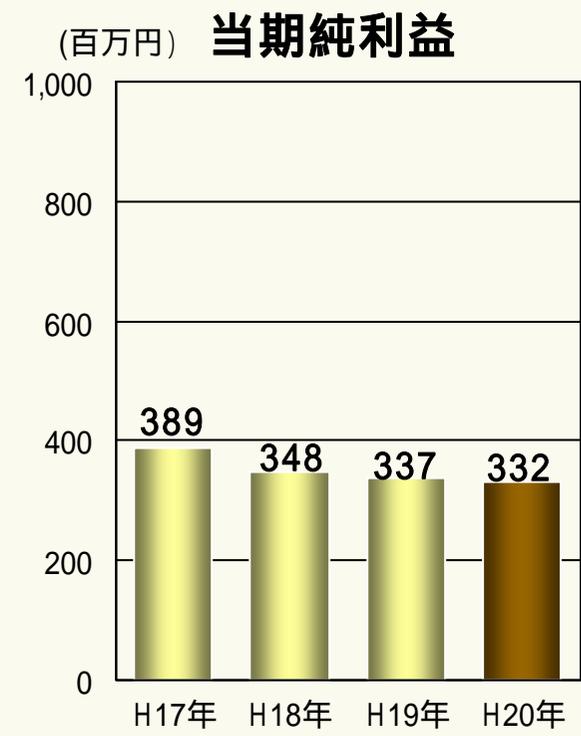
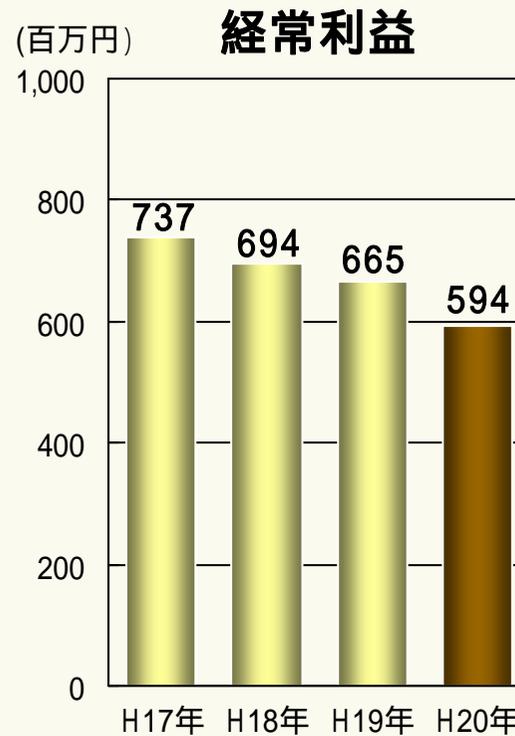
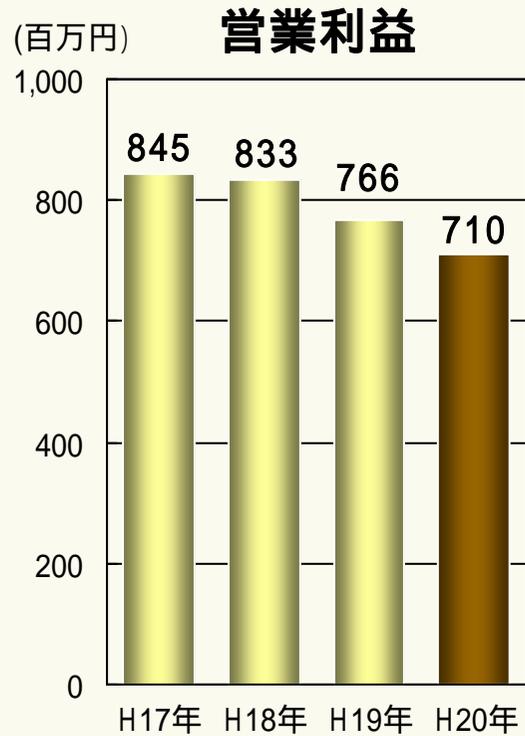


■ 環境改善工事・機器	特定化学物質障害予防規則の一部改正などによりホルムアルデヒド(ホルマリン)の規制が強化されたことから、医療施設向けの換気装置の受注活動が順調に進み、売上高も増加しました。
■ 防じんマスク・防毒マスク関連その他製品	電動ファン付き呼吸用保護具「プレスリンクブローマスク」は、安全性を向上させる新機能(面体内圧監視警報機能)を付加したモデルチェンジとラインナップの充実を図った結果、好調に推移しました。
■ 防毒マスク	官公庁からの受注が減少しました。
■ 防じんマスク	10月以降、急激な経済変動を警戒するユーザー各社のコスト削減の影響が見え始めました。

(百万円未満の端数切り捨て)

品目区分	平成17年		平成18年		平成19年		平成20年	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
■ 環境改善工事・機器	406	5.7%	437	5.6%	536	7.0%	556	7.1%
■ 防じんマスク・防毒マスク関連その他製品	1,063	14.9%	1,379	17.7%	1,201	15.7%	1,331	17.0%
■ 防毒マスク	1,624	22.8%	1,718	22.1%	1,975	25.9%	1,911	24.4%
■ 防じんマスク	4,029	56.6%	4,250	54.6%	3,930	51.4%	4,045	51.5%
合計	7,123	100.0%	7,785	100.0%	7,644	100.0%	7,845	100.0%

営業利益・経常利益・当期純利益の推移



(百万円未満の端数切り捨て)

主要な経営指標等の推移

(千円未満の端数切り捨て)

区分	第43期 平成17年12月期	第44期 平成18年12月期	第45期 平成19年12月期	第46期 平成20年12月期
売上高(千円)	7,123,034	7,785,851	7,644,859	7,845,556
営業利益(千円)	845,845	833,186	766,090	710,918
経常利益(千円)	737,929	694,232	665,875	594,546
当期純利益(千円)	389,454	348,430	337,950	332,058
1株当たり当期純利益	70円 03銭	69円 39銭	66円 92銭	65円 71銭
自己資本当期純利益率	5.6%	4.8%	4.6%	4.4%
総資産経常利益率	5.1%	4.6%	4.4%	3.8%
売上高営業利益率	11.9%	10.7%	10.0%	9.1%
1株当たり年間配当金	25円 00銭	25円 00銭	25円 00銭	25円 00銭
配当性向	32.0%	36.2%	37.4%	38.0%
純資産配当率	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%
総資産(千円)	14,720,103	15,155,100	15,198,789	16,357,462
純資産(千円)	7,173,742	7,329,569	7,478,239	7,618,476
自己資本比率	48.7%	48.4%	49.1%	46.4%
1株当たり純資産	1,431円 14銭	1,451円 79銭	1,477円 79銭	1,499円 63銭

ナノファイバー製「KOKENナノフィルター」の開発に成功 ～クリーンビジネスへの本格的参入～

半導体・電子デバイス事業においては、高精度・高付加価値製品の製造のために、より清浄度の高いクリーンな環境が求められています。そのため今後これらの製造施設では、これまでのマイクロレベルからさらに進んで、ナノレベルの清浄度が必要になると予想されます。また、素材としてのナノマテリアルについては、吸入によって健康被害を及ぼすとの報告もあり、その対策も行わなければなりません。

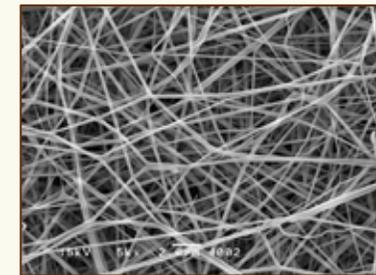
当社は、ナノレベルに対応するクリーンルームや防じんマスク用の超高性能フィルターの素材として、ナノファイバーの利用を考え、ナノファイバー製造技術の研究を行ってまいりましたが、この度、エレクトロスピンニング法による**ナノファイバー製「KOKENナノフィルター」**の開発に成功いたしました。

当社は、『クリーン,ヘルス,セーフティ』をテーマに、新たな技術革新と独創的な製品開発を行っておりますが、今回のナノファイバー製フィルターの開発がクリーンビジネスへの本格的参入になります。

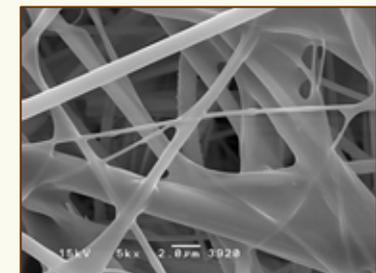
「KOKENナノフィルター」は、クリーンルーム等で使用される市販のエアフィルターであるULPAフィルターの約10倍の99.999%以上の粒子捕集性能を有しており、ナノファイバーの存在比率が高い、フィルターとして有効なランダム構造、耐水・耐油性に優れる、耐熱性に優れる、といった特長も持ち合わせています。また当社が開発した製造方法は、低コストの設備での製造が可能なたためコスト競争力に優れ、顧客からの様々な要求にも柔軟に対応できます。

今後、半導体・電子デバイス事業や医療・医薬品事業で使用されるクリーンルーム用のエアフィルターや防じんマスク用フィルターといった市場へ営業展開を図るため、各社へのサンプル出荷を行っていく計画です。

～同倍率の拡大写真～



KOKENナノフィルター



市販ULPAフィルター

世界初！開放式クリーンベンチ「オープンクリーンベンチ」の開発 ～次世代を担う新事業への布石～

クリーンベンチは、局所的なクリーンルームとして半導体、医薬品、食品工場をはじめ、病院、実験・研究施設など、高い清浄度が保たれたスペースが必要とされる様々な分野で広く使用されています。これまでのクリーンベンチは高い清浄度を保つために囲いで仕切られた閉塞構造をしており、作業性は決して高いものではありませんでした。またそのほとんどが作業台を兼ねた据え置き型のため作業に合わせた自由な移動や設置が困難という問題点もあります。



「オープンクリーンベンチ」

当社は医療、産業分野における有害物質のばく露対策用として全国で多数の納入実績を持つ開放式プッシュプル型換気装置の一樣流技術と新しく開発した対向型気流を組み合わせることで、開放構造でありながら、従来のクリーンベンチと同等以上の清浄度を確保したうえ、作業性や設置対応性に優れた世界初の**開放式クリーンベンチ「オープンクリーンベンチ」**を開発いたしました。（当社調べ）

従来のクリーンベンチは、エアフィルターでろ過した空気を送風し、囲われた作業スペース内を陽圧状態に保つことで外気の流入を防ぎ、高い清浄度を維持する構造です。それに対し「オープンクリーンベンチ」は、囲いの無いオープンタイプでありながら対向した2つのフードから送風した一樣流（風速・風向きが安定していてバラツキがない気流）の清浄空気を互いに衝突（対向型気流）させることで、周囲の空気の誘引を抑制し広い範囲の清浄空間を形成します。

オープンクリーンベンチは従来のクリーンベンチと比較して、開放式でありながら安定した清浄度を保つことが可能、作業性に優れる、設置する際の自由度が高い、といった特長があり、出展した展示会では大きな反響を呼びました。今後、半導体・電子デバイス事業等が技術革新を続けるためには、クリーンルームの清浄度を向上させることが不可欠といえますが、それには多大な設備投資・施設管理コストが必要であり、CO₂排出規制という問題もあります。当社では、そうした問題を解決する方法として「オープンクリーンベンチ」を、清浄度をさらに高めるためのクリーンルーム内での使用や低コストの局所的なクリーンルームとしての使用等の提案を各企業に行ってまいります。

研究開発

Clean, Health, Safety

当社の研究開発は、当社の基本方針である『クリーン,ヘルス,セーフティ』の追求に対し、自由で独創的な技術開発とその多面的応用を目指して活動しております。とりわけ「労働安全衛生保護具」、「作業環境改善」については、長年の技術蓄積を持ち、信頼を勝ち得ている分野ですが、なお革新性の高い技術に挑んでいます。さらに未来技術の基礎開発・応用開発にプロジェクトチームを含めマトリックス型の研究体制を敷いております。

なお、研究開発担当人員は71名、当事業年度の研究開発費は、総額4億65百万円であります。
当事業年度中の主な開発製品は以下の通りです。

電動ファン付き呼吸用保護具プレスリンクブロワーマスク「サカヅ式 BL-700H」

当社が開発したプレスリンクブロワーマスクは、電動ファンからの送風により面体内を外気より高い圧力に保つことで粉じん等の漏れ込みを防止する高い安全性に加え、世界初の呼吸に追従して風量を制御する機構を搭載した快適性の評価も高い電動ファン付き呼吸用保護具です。

一般に電動ファン付き呼吸用保護具は、使用の経過によってフィルターの目詰まりやバッテリーの電圧低下で送風量が減少してきます。その時、接顔部にすき間が生じると粉じん等が面体内へ漏れ込んでくる危険性が高くなります。

その漏れ込みの危険性を未然に防ぐため「サカヅ式BL-700H」は、新機能の“面体内圧監視警報機能”を装備しており、面体内が陰圧になった場合、ランプの点滅・点灯により、作業者に圧力低下を知らせます。この機能によって、より安全に作業することが出来ます。

また、これまで溶接作業やトンネル工事用としてご好評をいただいております「サカヅ式BL-100」シリーズにも、この“面体内圧監視警報機能”を追加したモデルチェンジを行いました。



「サカヅ式BL-700H」



「サカヅ式BL-100」
シリーズ

ホルムアルデヒド対策用換気装置「コーケンラミナー MU-01」

医療施設において、手術で摘出された組織の病理学的診断を行う部門では、検体を保存するための安定剤としてホルムアルデヒド（ホルマリン）を使用しており、その換気対策として当社製の卓上型プッシュプル換気装置「ラミナーテーブルHD-01」が数多く導入されています。

この病理診断部門の業務の中にホルムアルデヒドで保存された臓器等の水洗いを行う作業があり、この作業は主にシンク内で行われます。「コーケンラミナーMU-01」はシンクでの水洗い作業に適したコンパクトサイズの開放式プッシュプル型換気装置として開発しました。



「コーケンラミナー
MU-01」

貸借対照表の要旨

(百万円未満の端数切り捨て)

科 目	前事業年度 平成19年12月31日現在	当事業年度 平成20年12月31日現在	増 減
資 産 の 部			
流 動 資 産	7,100	6,694	405
現金及び預金	2,051	1,617	433
受取手形	1,329	1,342	13
売掛金	1,884	1,998	113
有価証券	110	-	110
たな卸資産	1,525	1,526	0
その他の流動資産	203	213	10
貸倒引当金	4	4	-
固 定 資 産	8,098	9,662	1,564
有形固定資産	6,757	8,385	1,627
無形固定資産	23	23	0
投資その他の資産	1,316	1,254	62
資 産 合 計	15,198	16,357	1,158

貸借対照表の要旨

(百万円未満の端数切り捨て)

科 目	前事業年度 平成19年12月31日現在	当事業年度 平成20年12月31日現在	増 減
負債の部			
流動負債	3,099	3,408	309
買掛金	157	175	17
短期借入金	1,100	1,100	-
1年内返済予定長期借入金	1,123	1,399	275
未払金	191	161	29
未払費用	132	139	7
その他の流動負債	394	432	37
固定負債	4,620	5,330	709
社債	2,200	2,200	-
長期借入金	1,838	2,530	691
その他の固定負債	582	599	17
負債合計	7,720	8,738	1,018

貸借対照表の要旨

(百万円未満の端数切り捨て)

科 目	前事業年度 平成19年12月31日現在	当事業年度 平成20年12月31日現在	増 減
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	7,340	7,552	212
資本金	674	674	-
資本剰余金	528	528	0
利益剰余金	6,185	6,391	205
自己株式	47	41	6
評価・換算差額等	123	32	91
その他有価証券評価差額金	123	32	91
新株予約権	14	33	19
純 資 産 合 計	7,478	7,618	140
負 債 純 資 産 合 計	15,198	16,357	1,158

損益計算書の要旨

(百万円未満の端数切り捨て)

科 目	前事業年度	当事業年度	増 減
	平成19年1月1日から 平成19年12月31日まで	平成20年1月1日から 平成20年12月31日まで	
売 上 高	7,644	7,845	200
売上原価	4,167	4,320	153
売上総利益	3,477	3,524	47
販売費及び一般管理費	2,711	2,813	102
営業利益	766	710	55
営業外収益	22	33	10
受取利息	3	3	0
その他の営業外収益	19	29	10
営業外費用	123	150	26
支払利息	57	72	15
社債利息	25	23	2
その他の営業外費用	40	54	13
経常利益	665	594	71
特別利益	-	8	8
特別損失	69	32	36
税引前当期純利益	596	570	25
法人税、住民税及び事業税	261	247	14
法人税等調整額	2	8	5
当期純利益	337	332	5

平成21年12月期の業績予想

次期の見通し

(百万円未満の端数切り捨て)

区 分	第46期実績 平成20年12月期	第47期予想 平成21年12月期
売上高(百万円)	7,845	8,100
営業利益(百万円)	710	730
経常利益(百万円)	594	610
当期純利益(百万円)	332	320
1株当たり当期純利益	65円 71銭	63円 27銭



電動ファン付き呼吸用保護具
(石綿除去作業用)



プッシュプル型換気装置
(ホルムアルデヒド対策用)

マスク関連事業部門では、景気後退にともなう経済活動の冷え込みによって、事業環境は益々厳しさが增大していくと予想されます。その中において当社は、従来から進めてきたマスクと顔の間からの粉じん等の漏れ込みに対する注意喚起のための“フィットの重要性”の啓発活動を今後も継続して行い、当社製マスクのフィットの優秀性の認知度を高め、シェア拡大を図ってまいります。

電動ファン付き呼吸用保護具は、石綿障害予防規則の一部改正によって、吹き付け石綿除去作業での着用が義務付けられ、今後も需要の拡大が見込まれます。当社では、電動ファン付き呼吸用保護具をマスク関連事業部門の戦略製品と位置づけて、石綿作業をはじめとした様々な市場への拡販を行い、景気後退にともなう需要の減少への対策としていく計画です。

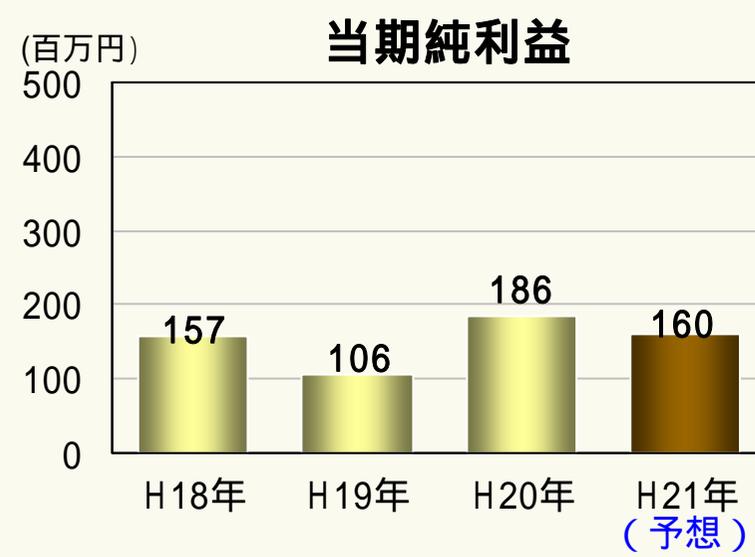
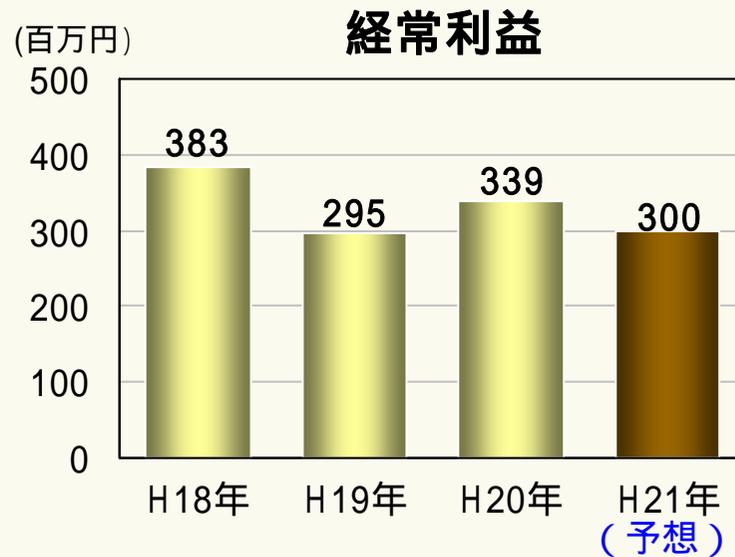
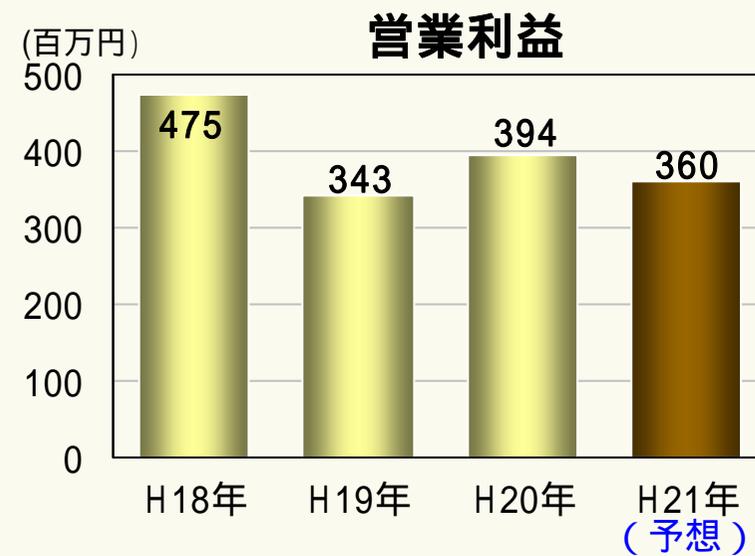
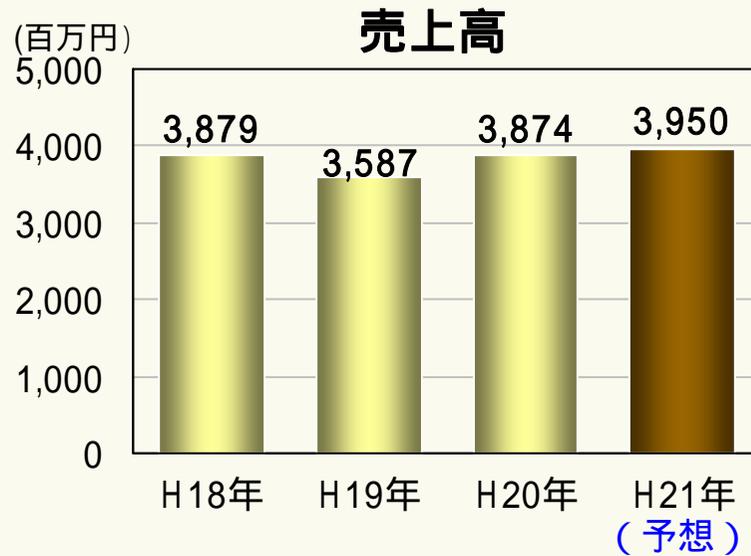
環境関連事業部門においては、ホルムアルデヒド（ホルマリン）の規制が強化される前から継続しておりましたプッシュプル型換気装置の営業活動が結実して、解剖実習室や病理検査室を中心として採用が進み、大幅な増収になることを見込んでおります。

以上により、両事業部門を合わせた業績は、売上高81億円（前事業年度比3.2%増）、営業利益7億30百万円（前事業年度比2.7%増）、経常利益6億10百万円（前事業年度比2.6%増）、当期純利益3億20百万円（前事業年度比3.6%減）となる見通しです。

売上高及び利益の予想（第2四半期累計期間）

Clean, Health, Safety

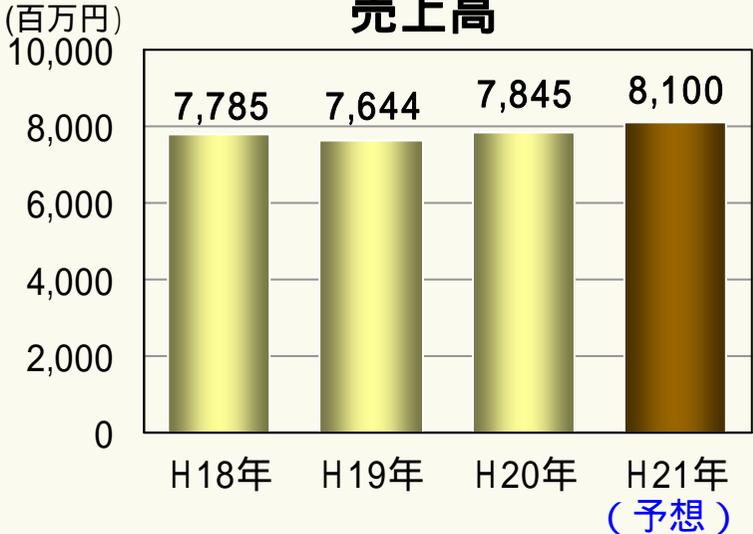
(百万円未満の端数切り捨て)



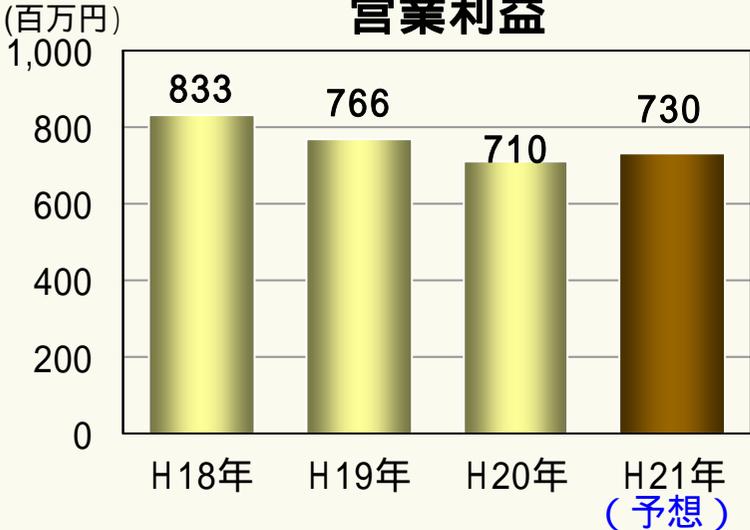
(百万円未満の端数切り捨て)

売上高及び利益の予想 (通期)

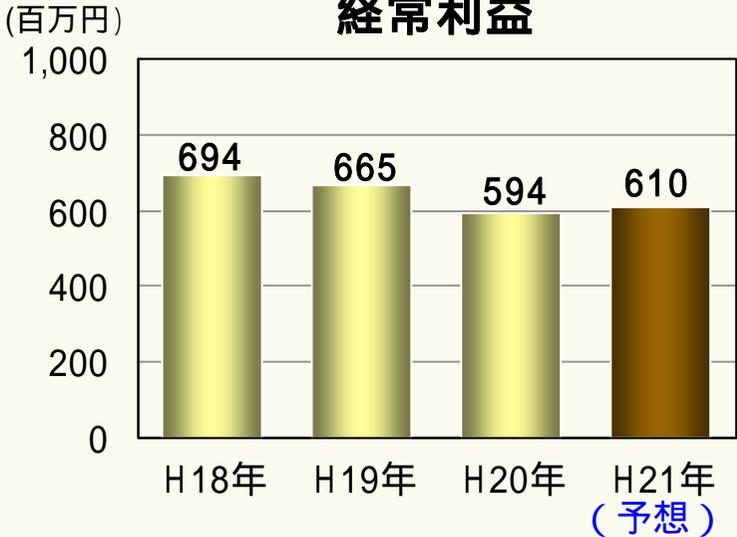
売上高



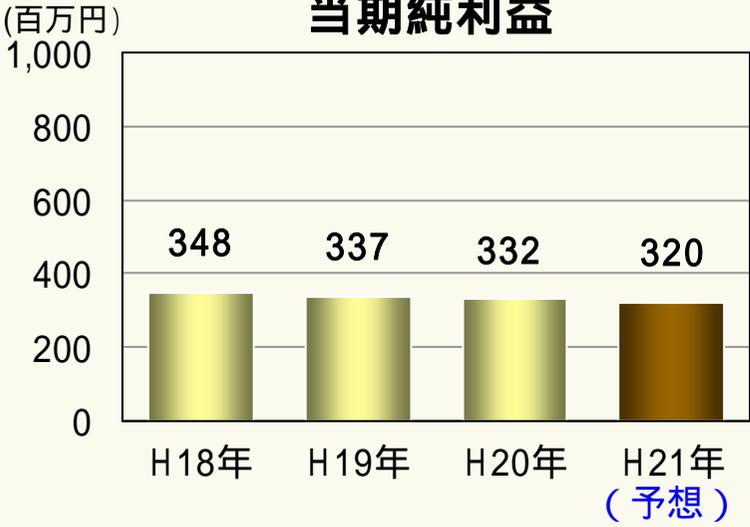
営業利益



経常利益



当期純利益



ご 参 考

会社の経営の基本方針

当社は、人間の生命の価値を最も高いものと考え、それに直接係わる『クリーン，ヘルス，セーフティ』を業務テーマとし、オリジナリティの高い技術をベースとした製品を供給することにより、社会に貢献することを目的に活動しております。

そして、その実現の為に、人間の尊厳であるイマジネーションとクリエイションの発揮を社員全員に求め、結果として「他社に追随しない」「徹底して研究する」ことで、新たな技術革新と独創的な製品開発をし続けることを、経営の基本方針としております。

中長期的な会社の経営戦略

会社の経営の基本方針に基づき、マスク関連事業部門では、海外への市場展開も視野に入れながら、国内における地位の向上を一層強化してまいります。加えて、医療分野をはじめとした新しい市場への開拓を進めることで、環境関連事業部門を当社の主要事業として育成し、もって研究開発型の総合環境企業としてのゆるぎない地位の確立を目指してまいります。

利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、安定的な配当の維持及び向上を図ることを基本方針としております。

なお、内部留保金につきましては、より一層の経営基盤強化のため、新技術・新製品の研究開発活動及び設備投資等に有効活用し、将来の継続的發展を図ってまいりたいと存じます。

会社の対処すべき課題

近年わが国においては安全への意識が急速に高まり、「安全文化」という考え方が社会に浸透し始め、優良企業体においては安全を無視して存立を続けることが難しいとの考えが定着し始めています。また行政においても安全確保を目的に法整備、規制強化が図られています。

当社は、これ等業界、行政の安全への取り組みにともなう要望に対し、的確に応えられる製品開発、供給体制を整えることを求められています。

【マスク関連事業部門】

- ・電動ファン付き呼吸用保護具「プレスリンクブローマスク」の製品価値のさらなる向上と、トンネル作業、溶接作業をはじめとした様々な市場への浸透を推進し、国内における市場占有率の拡大を図ります。

そして海外市場も視野に入れ当事業部門の核となる製品に育ててまいります。

- ・官民の天災・人災に対する防災意識の高まりや、テロ、新型インフルエンザ等の新たな危機への対応の必要性が増大している中、当社は、これらの社会的要請に応えるべく、産業用のみならず、消防救助や救命救急用の保護具・機器に加え、一般市民向けの火災・特殊災害避難用や**感染対策用マスク**など、エマージェンシー対応製品の提案を行ってまいります。

- ・防じんマスク・防毒マスクをはじめとする呼吸用保護具は、その防護性能を十分に発揮させるためには適切に使用することが必要で、特に顔とマスクのフィット(密着)の確認が重要です。

当社は、フィットしやすい面体技術を追求するとともに、フィットをはじめとした装着や使用方法等を顧客に伝える活動を今後も継続してまいります。

【環境関連事業部門】

- ・今、医療の現場では、感染対策の早期整備やホルムアルデヒド(ホルマリン)等の化学物質の規制強化にともなう個人ばく露対策、換気対策が求められています。当社はこれまで医療施設における感染リスク、安全衛生リスクを独自の技術によって低減する全自動内視鏡洗浄消毒装置や**ホルムアルデヒド対策用換気装置**を販売し、高い評価をいただいております。

今後も感染リスク・安全衛生リスク対策の啓発活動を継続するとともに、医療施設向けのシステム・製品開発に取り組み、“医療分野を第2の柱に育てる”という経営目標の実現に努めてまいります。



感染対策用マスク



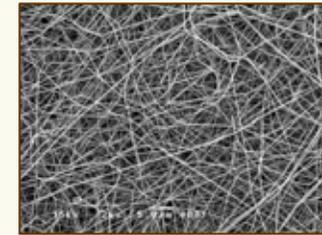
ホルムアルデヒド
対策用
換気装置

【新事業への取り組み】

- ・ 当社の環境関連事業部門には、オープン型のドラフトチャンバーとして他社の追随を許さない**卓上型プッシュプル換気装置「ラミナーテーブル」**があります。本製品は医療施設のホルムアルデヒド対策用換気装置の市場拡大を牽引し、現在、急激に売上を伸ばしております。当社の研究開発は、「他社より先に洞察してスタートを切る」ことを重要視しており、この換気装置もその考えから生まれた製品の1つです。
- ・ 当社では、平成20年11月に**ナノファイバー製「KOKENナノフィルター」と開放式クリーンベンチオープンクリーンベンチ**の技術開発に関するニュースリリースを行いました。当社にとってこの2つの技術は、次世代を担う新事業への布石であり、クリーンビジネスへの本格的参入を意図するものであります。今後も収益基盤の拡充へ向けた市場創造型製品の開発に積極的に取り組んでまいります。



卓上型
プッシュプル換気装置
「ラミナーテーブル」



ナノファイバー製
「KOKENナノフィルター」

【環境問題への取り組み】

- ・ 環境問題への取り組みは、多くの企業が経営の重要課題の1つとしており、当社はお客様の環境問題対策に寄与する製品開発及び提案を行ってまいります。当社が販売する**プッシュプル型換気装置「コーケンラミナー」、電動ファン付き呼吸用保護具「プレスリンクブローマスク」、磁気式水処理装置「エコビーム」**はすべてCO₂排出抑制に大きく寄与することからそうした環境面から訴求する営業も展開してまいります。
- ・ 当社の取り組みといたしましては、資源の循環、廃棄物低減等による地球環境への配慮という観点から、環境負荷の少ない原材料の選定や製品設計を行うとともに、残反を再加工した「パイロミクロンフィルター」使用製品の開発を既に行っております。それに加え、使用済みの防じんマスク用フィルターと防毒マスク用吸収缶を新しい資源として再利用する「リサイクルシステム」をこれからも積極的に推進し、環境負荷の低減はもちろん、お客様の廃棄物処理負担の軽減に役立ててまいります。



開放式クリーンベンチ
オープンクリーンベンチ



プッシュプル型
換気装置
「コーケンラミナー」



電動ファン付き
呼吸用保護具
「プレスリンク
ブローマスク」



磁気式水処理装置
「エコビーム」

【製造力強化】

- ・ 需要の増大や新市場への展開を進めるため、製造本部を軸としたテクノヤード（製造拠点）の製造力強化を図ってまいります。

事業等のリスク

当社の事業、経営成績及び財務状況等に影響を及ぼす可能性のあるリスクには以下のようなものがあります。

なお、文中における将来に関する事項は、本資料の発表日現在において当社が判断したものです。

研究開発について

当社は、研究開発型の総合環境企業として「クリーン,ヘルス,セーフティ」に係わる革新性の高い製品を市場に供給することを目的に経営資源の投入を行っておりますが、研究開発の全てが、新製品の開発や営業収益の増加に結びつくとは限らず、また、諸事情により研究開発を中止せざるを得なくなった場合は、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

また、当社はオリジナリティの高い技術をベースとした製品開発について、必要な知的財産保護手続きを行い、既に特許等も多数保有しておりますが、その独自の技術を法的制限のみで完全に保護することには限界があり、第三者が当社の知的財産を使って模倣品や類似品を製造、販売することを防止出来ない可能性があります。そういった事象が発生した場合は、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

法的規制について

当社の事業は、「労働安全衛生法」「薬事法」「製造物責任法」等の様々な法規制に関連しておりこれら法規制を遵守すべく、コンプライアンス体制の強化と内部統制の整備を今後さらに進めてまいります。

万一これらの法規制に適合しない事象が発生した場合、製品の回収や当社が進めている事業に制限が出る可能性があります。また、新たな法規制の制定や改正がなされた場合は、設備投資等の新たな費用が発生することにより、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

品質保証・品質管理について

当社の製品は、過酷な環境下での使用が想定されることに加え、使用者の安全と健康を守るという製品の特徴から、より高い耐久性、信頼性が求められております。

当社は、社長直轄の品質に関わる独立した部門である品質保証室を設置するとともに、ISO 9001に基づく品質マネジメントシステムを構築及び維持することにより、万全な品質保証体制を取っております。そして品質保証室は、各テクノヤード（製造拠点）に製品検査員を配置し、テクノヤードの製造工程、検査工程の監視を行い、テクノヤードは、日本工業規格、厚生労働省国家検定規格及び当社独自の厳格な品質保証・品質管理基準による製品の製造を行っております。

以上万全な品質保証・品質管理体制を維持、強化いたしておりますが、厚生労働省の呼吸用保護具買取り試験による不適合の指摘を予期せぬ要因で受れたり、製品の欠陥及び故障が発生した場合は、回収、修理費用等の負担などにより、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。今後、さらなる品質保証・品質管理体制の強化を図ってまいります。

災害等について

地震等の自然災害や事故等によって、生産活動の停止等、事業活動の継続に支障をきたす事象が発生した場合、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。なお、製造拠点であるテクノヤードは、受診した地震リスクの調査結果に基づいた事業継続計画の立案に着手・実行しております。

環境問題について

当社の研究所とテクノヤードの計2ヶ所において、過去に発生したトリクロロエチレンによる土壌・地下水汚染の浄化対策を継続的に実施し、順調に浄化が進んでおりますが、浄化が完了する時期の想定が現在のところ難しく、浄化対策が長期間を要した場合、その対策に関わる費用は、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

本資料の平成21年12月期業績予想数値及び将来に関する事項につきましては、平成20年12月期決算発表日(平成21年2月5日)現在において、入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る平成20年12月期決算発表日現在における仮定を前提としております。今後、様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ先

興研株式会社
広報・IR室

TEL 03-5276-1932
FAX 03-5276-6530
E-メール ir@koken-ltd.co.jp
ホームページ <http://www.koken-ltd.co.jp>